

お客様各位

伊藤忠エネクスホームライフ西日本株式会社

## 【電気料金の仕組みと燃料費調整額について】

平素は「eコトでんき！」をご利用いただきありがとうございます。

掲題の件、今般の世界的なエネルギー価格の高騰により、**燃料費調整額**が急激に高騰しております。

「電気料金の仕組み」と電力市況に大きく影響を受ける「燃料費調整額」についてご説明させていただきます。

### 【そもそも電気料金ってどうやって決まっている…？】

月々の電気料金は、

『**最低料金**（基本料金）+ **従量料金**+ **燃料費調整額**+ **再生可能エネルギー発電促進賦課金**』の合計金額で決まっています。



参照：当社ホームページ「電力について」

※燃料調整額は燃料費調整額と同義

### <参考>



<b>最低料金</b>	電気の使用量に関わらず毎月発生する料金です。「eコトでんき！」は、中国電力従量電灯Aの最低料金と同じ価格を採用しています。
<b>従量料金</b>	使用電力量に従量料金単価を掛け合わせた金額をいいます。（使った分だけ！のイメージ） 「eコトでんき！」各プランでは、 <b>中国電力の料金比で3～13%OFF</b> となっています。 参考： <a href="#">「eコトでんき！」プラン一覧</a>
<b>燃料費調整額</b>	後述【燃料費調整額とは？】で説明
<b>再生エネ発電促進賦課金</b>	「再生可能エネルギーの固定価格買取制度」によって電力会社等が買取に要した費用を、電気の使用量に応じてお客様に負担いただくもの。日本の再生可能エネルギー発電（太陽光、風力、バイオマスなど）の普及のために、国民に求められている負担金になります。再生エネ発電促進賦課金単価は、毎年度、経済産業大臣によって定められ、毎年5月分から翌年の4月分の電気料金に適用しています。

## 【燃料費調整額とは？】

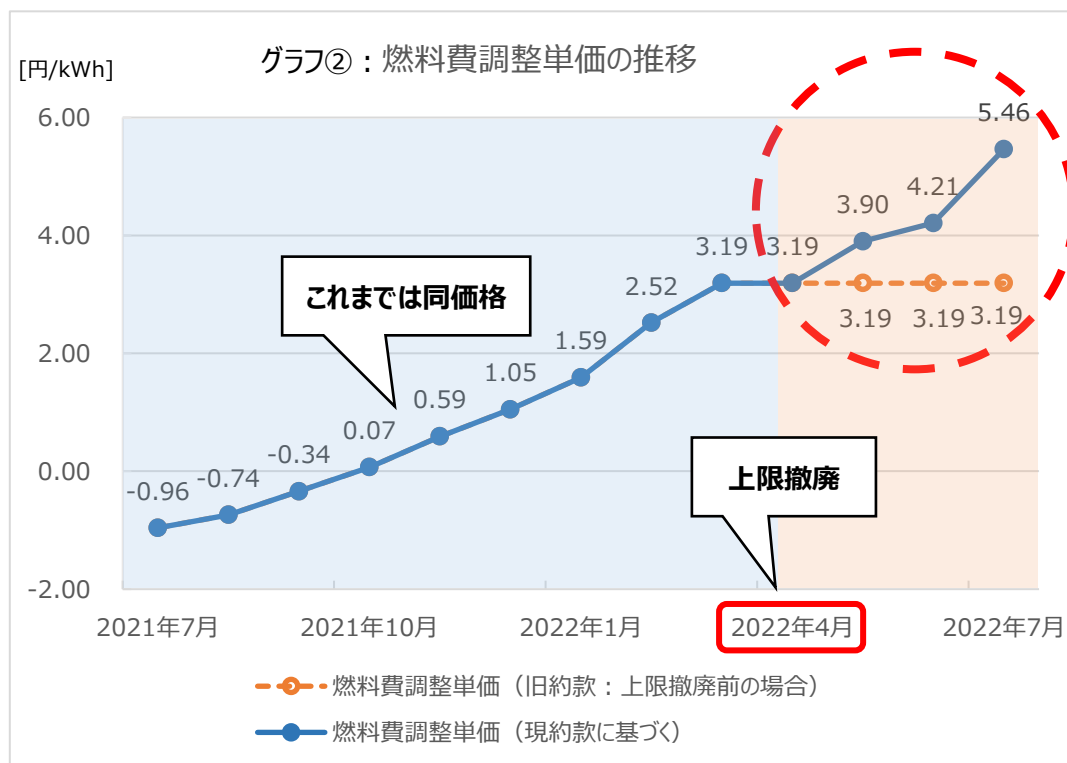
日本の発電は、火力発電が主流となっています（2022年度国内エネルギー供給の76.3%）。火力発電で電気を作るために原油や石炭、LNG（液化天然ガス）などの燃料を使用しています。どの燃料も輸入に頼っており、その価格は燃料自体の価格や為替などによって常に変化しています。この変動コストを迅速に電気料金に反映させるためのものが燃料費調整額で、飛行機の燃油サーチャージと同じようなものです。燃料価格が高い時は燃料費調整額も上がり、反対に安い時は下がる仕組みとなっています。

ただし、各電力会社によって発電に使用する燃料の割合が異なります。そのため燃料費調整単価もエリア毎に設定されています。当社の電気供給先は中国エリアですので、中国電力の燃料費調整単価と同額をお客様に請求しております（中国電力が定めた平均燃料価格の上限価格を超えない場合）。

「eコトでんき！」は2022年3月31日まで、中国電力と同様の平均燃料価格の上限価格（39,000円/kl）を超過した場合、上限価格にもとづき算定した3.19円/kWhを燃料費調整単価の上限としておりました。

2022年4月1日より燃料費調整額を算定する平均燃料価格の上限を撤廃いたしましたので、今般のように平均燃料価格が高騰している状況においては、上限撤廃前と比較すると燃料費調整額が高くなっています（グラフ②）。

中国電力のスマートコースやシンプルコースなどのプランやその他新電力で平均燃料価格の上限を撤廃しているプランは、当社と同じ仕組みとなっています。



※eコトでんき！は、燃料費調整制度の上限価格撤廃を2022年4月1日(5月検針分、6月請求)より実施しております。詳細は、「電気料金メニュー約款の変更について」（2022年3月1日発行）をご覧ください。

## 【よくあるご質問 (Q&A)】

### Q 1. 平均燃料価格はどれくらい高騰しているのですか？

A 1. 原油、石炭、LNGともに直近2年間で約3~4倍に急騰しています。特に石炭は史上最高値を更新しています。さらに、為替相場でも円安が急激に進行している為、日本円でみた燃料価格はさらに上昇しています(表①)。

原油：約4.4倍、石炭：約3.5倍、LNG：約2.8倍

日本円ベースでみた場合、原油約5.0倍、石炭約4.1倍、LNG約3.3倍

表① 【参考：燃料価格(円ベース)の上昇幅】

	2020年		2022年4月
原油CIF [円/kl]	16,700 (2020年6月)	約5.0倍 →	83,246
石炭CIF [円/t]	7,615 (2020年9月)	約4.1倍 →	30,905
LNG CIF [円/t]	30,370 (2020年9月)	約3.3倍 →	99,976

### Q 2. 最近、電気代が高いと感じるんだけど…？

A 2. 「e コトでんき！」の料金プラン(最低料金(基本料金) + 従量料金)は変更していません。燃料費調整額が上がっていることが電気料金上昇の大きな原因です。

### Q 3. 燃料費調整額はいつ安くなる見込みなの？

A 3. 世界規模で燃料の高騰が続いております。この高騰がいつ終息するのかは全く予想できない状況です。

### Q 4. 燃料費調整額が電気代に入っているのはなぜ？

A 4. 発電燃料(原油・LNG・石炭)などの変動コストを迅速に電気料金に反映させるためです。燃料価格が高い時は燃料調整額も上がりますが、反対に安い時は下がる仕組みとなっています。

### Q 5. 燃料費調整額の上限撤廃って何？

A 5. 発電燃料(原油・LNG・石炭)などの変動コストが高騰した際、毎月お客様に負担いただいている燃料費調整額の上限をなくすということです。規制料金である中国電力の従量電灯Aの燃料費調整額は、中国電力が定めた平均燃料価格の上限価格(39,000円/kl)を超過した場合、上限価格にもとづき算定した3.19円/kWhとなります。(現在、上限いっぱいの場合)「e コトでんき！」は、2022年4月1日より燃料費調整額の上限を撤廃しております。中国電力のスマートコースやシンプルコース、多くの他社新電力も当社と同じく燃料費調整額の上限を撤廃しております。

## 【POINT】

- 電気料金が高くなっていたら、まず燃料費調整額や電気使用量をチェック！
- 当社のガスと電気のセット供給だと、ガスセット割※が適用されて、さらにお得になります。

※当社のLPガス供給+「e コトでんき！」の両方をご利用のお客様向けの割引。

ガスの基本料金から月々110円(税込)を値引きしております。